

高性能搬器による架線系木材生産の取組

1. 林業事業体等名 公益財団法人愛知県林業振興基金（愛知県名古屋市）

2. 林業事業体の概要

- ①年間素材生産量 -m³ ※機械の貸付・導入助成事業及び研修等を実施
- ②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 貸付先の林業事業体による

3. 取組の特長

- ・愛知県実施の「東三河木材供給システム構築事業」による新たな架線系木材生産システム構築のための現地研修会、参加型研修、木材生産コストの実証等を踏まえ、県内事業体への貸付用機械として高性能搬器（ウッドライナー）1台を平成25年11月に導入した。

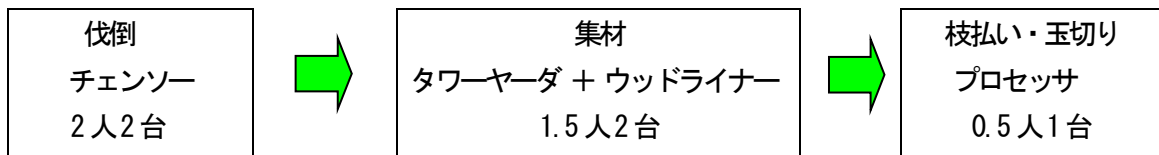
（実証事業の取組概要・特長）

- ・従来の高性能林業機械3点セット（スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ）は高密度路網整備が必要で急傾斜地では困難なため、急峻地に対応できる新たな架線系の木材生産システムを構築する。

4. 実証事業の具体的な内容

- ① 施業方法：タワーヤーダで架線を張り、集材線下と集材線から25mの範囲を魚骨状に伐採した材を高性能搬器で全木集材し、プロセッサで造材した。
- ② 事業地概要：傾斜角30~40度、ヒノキ78年生（460本/ha、平均材積0.64m³/本）、施業面積1.93ha、架設距離（121m+157m+109m）×幅50m（3箇所）
- ③ 使用機械：高性能搬器（ウッドライナー）1台、タワーヤーダ1台、プロセッサ1台
- ④ 作業システム：

1) 実証事業作業システム（4人/セット）



- ⑤ 森林作業道の作設方法：既設の林道に設置。

- ⑥ 労働生産性及び素材生産コスト：

利用間伐	新作業システム	
	労働生産性 (m ³ /人・日)	素材生産コスト (円/m ³)
	6.25	5,790

※愛知県新城市内県有林における実証結果、実証事業の作業：前田商行（株）に依頼

5. 実証事業後の取組等

- ・貸付用機械として導入したウッドライナーの取扱については、県内では初めての導入となることから、県内林業事業体を対象に、安全対策、機械性能やメンテナンス、現場作業の段取りや作業方法等について一連の取扱講習会を実施した。
- ・同講習会では、メーカー及び県外林業事業体を講師として招き、座学及び現地作業（架線の架設撤去を含め）を実施した。
- ・当面はウッドライナーの取扱い及び生産作業に慣れてもらうために、研修用機械として事業体に貸し出すことで、同生産システムを広く普及し、事業体自らの導入検討を啓発する。（導入困難な事業体は貸付事業で対応）



【メーカーから構造・メンテナンス説明】 【参加林業事業体の作業員が架設・搬出を実施】

【報告者】

愛知県農林水産部農林基盤担当局林務課

主任 山口 大樹

連絡先：052-954-6445